

令和3年度第1回胎内市環境審議会議事録

- 1 日時 令和4年3月24日(木) 午後1時30分から
- 2 場所 市役所2階 大会議室
- 3 出席者 (環境審議会委員) 南波 和也、植田 信夫、須貝 欽也、河内 理助、  
佐藤 直文、西濟 睦美、宮西 俊夫、村山 千昌  
(事務局)
- 4 議題 (1) 令和3年度胎内市環境事業報告  
(2) 令和4年度胎内市環境事業について

事務局	(令和3年度胎内市環境事業報告について資料に沿って説明)
委員	胎内市の環境基本計画の50ページに市内全域CO2排出量目標削減率26.0%とあるが、これは、安部首相が2020年3月30日に地球温暖化対策推進本部で発言した削減率である。その後、2021年に削減目標は46%へと変更になったことに合わせて削減目標を46%に変えて欲しい。
事務局	環境基本計画を策定する段階では、26%が削減目標であったが、日本全体としてカーボンニュートラルを目指している関係で、基準比46%減が示された。今後胎内市全体の温暖化計画である地球温暖化防止実行計画の区域施策編を策定するように準備を進めている。そこで、胎内市の産業や様々な地域の実情を調査しつつ、国が求めている削減率まで進める方法を、まず議論を深めるべきだと考えている。国においても46%削減はかなり野心的な目標であり、現状だと達成は少し難しいというような認識である。しかし46%削減へ向けた努力は必要である為、議論を深めつつ適切な時期に直したいと考えている。
委員	事務局説明の中で洋上風力発電をやる方向にと話が出たが、個人的には非常に良いと思う。現在、陸上にある風力発電は回っていないものが結構ある。整備をしているわけでないのであれば、昨日のような東北電力等が電力調整をやっている状況で止まっているのは疑問を感じる。
事務局	事業所の運営の話なので、事務局では細かく把握していないが、メンテナンスや強風等で壊れない為に止めるという話は聞いている。電力の調整のために止めているという話は今まで聞いた事はない。機会があれば、事業所の方に確認し、委員に周知したい。
委員	その他質問がなければ第2議案の方に入りたいと思う。令和4年度胎内市環境事業について説明願います。
事務局	(令和4年度胎内市環境事業について資料に沿って説明)
委員	事業に対して、環境についての教育など行ってはどうか。私は昨年まで5年程新潟県地球温暖化防止推進委員をやっていた関係で地球温暖化防止啓発の為、寅田、八田、新館、村松浜、西条、築地等の集落を回っていた。そこで地球温暖化が原因で起こる問題や、それに対して国や企業が行っていること、自分達が出

	<p>来ることを小さな子供や年配の方に話をした。今年度はコロナの関係であまり活動できなかったが、教育を行っていかないと地球温暖化についてよく理解できない方が非常に多くなっていく気がする。エネルギー、食べる物も出来るだけ地産地消しないと物が余ってしまう。日本の食糧自給率が 37%しかない中でお米が余ったと言っている。また、麦が足りないから値上げをしている。エネルギーにしても食糧にしても、地産地消という事を推進して行って、そして安定した国造り、自治会作りを考えていく必要があるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>子供たちへの教育というところは非常に大切であると思う。子供たちに対しては、新発田地域広域事務組合で行っているゴミの処分から焼却、埋め立てまでの一連の流れを学校の教育の中で説明を行っており、子供たちに校外学習で焼却場の見学も行っているところである。他にも現在、私共の自治体と包括連携協定を結んでいる事業所とで、環境分野についてどのように進めて行けばいいのかという意見交換をしている。その中でも子供たちへの教育について提案があった。それを教育委員会に学校の教育の中で取り入れることができないだろうかと相談をしたところ、教育の方は年間のカリキュラムが組まれているので難しいとの回答であった。総合学習の中に入れることも可能と思われるが、そこは学校とスケジュール調整をしつつ実現に向けていきたいと考えている。令和4年中に実現したいと考えているが、学校との調整を現在進めている為もうしばらくお待ちいただきたい。</p> <p>やはり地球温暖化には様々な要因が絡んでおり、ゴミの減量化や、海洋プラスチックも現在問題である為、子供たちにとって身近で分かりやすいところから、学校のカリキュラムに影響を与えないようにと昨年、一昨年と夏休み中に、胎内市のなかよしクラブで参加者を募って、環境に関する出前講座を行っている。昨年在築地小学校、一昨年在きのと小学校と築地小学校、二つ実施することが出来た。同様の活動は令和4年度も実施して行きたいと考えている。その出前講座を聞いて感じたこと、考えたことから子供たちが作品を制作し、胎内市イラスト展という形で応募してもらい、昨年市役所の本庁舎の前に飾って皆さんにお知らせするという事業は進めている。その事業も広がり生まれればいいと思う。子供たちの教育は私どもも引き続き考えていきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私がやっている子供に対する教育の中で、胎内小学校の放課後子供教室というのがある。この中で年間3回、胎内漁業ということで鮭を捕獲して稚魚を生ませて放流する事業をやっている。そこで鮭は川の水の匂いを嗅いで戻ってくる、だから環境を悪くすれば川の水の匂いが変わってしまい、どこへ帰っていか迷ってしまうことを説明している。鮭は水さえ変わらなければ生まれた川に戻ってくる為、ゴミを分別しようという話を持ちかけている。鮭を取るためのエネルギーは海へ行って魚を取るのとは違う為必要ない。鮭などは大体稚魚のうち4カ月位だけは面倒見るけれども、それ以外の3年、4年、5年というのは</p>

	<p>ほとんど自然界に行って帰ってくる。それは非常に地球にやさしい、地球温暖化に寄与しているのだという環境という問題と地球温暖化防止とその辺を含めて教育したら子供が納得してくれると思う。この19日の日に胎内小学校の児童が19名、父兄が11名、それからスタッフが6名、約40名位の人が集まって、鮭が元気で帰ってくるようお願いしながら放流をした。鮭は放流してしまったら病院もないし悪い人を捕まえるお巡りさんもない。学校の先生もお父さんもお母さんもないので自分の命は自分で守らなくてはいけないといった話をひっくるめてしている。子供は子供なりによく理解をしてくれていると思っている。今年度の鮭の遡上の時に教育長もいらっしゃった。こういった話はやはり誰かが出て行ってそこらで話をすることが子供に対する環境、地球温暖化、命の大切さ、すべてに絡まってくるという話をしている。そういった事は胎内市でもやっていく必要が十分あると私は思う。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。環境基本計画の中にも環境の教育という分野は大切な部分なので盛り込んでいる。決して行政だけではなくて市民の皆さん、委員の皆さんの協力ももらいながら進めて行ければと思っている。協力できることやアイデアがありましたら、どんどん私どもの方までお寄せいただければありがたい。</p>
委員	<p>廃棄物事業のゴミステーションのアンケートの関連で質問だが、先ほどの事業報告の資料内の廃棄物の処理処分状況の表を拝見すると、経年的に平成28年度から令和3年度の推移が出ている。人口は減っている訳だが1人当たりの排出量が増え気味、総排出量は減っている。だが、資源化率が平成28年度に20%を超えていたものが令和3年度に14%と低下している。この資源化率を向上させるという目標も今後の課題になってくると思う。それには市民の分別という協力が必要になってくると思う。このゴミステーションでの取組みやアンケートはもう終わっているが、資源回収にどのように結び付けていくか、向上させるかという予定があれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>ゴミステーションのアンケートというのは、主に主眼としたところがゴミの分別の仕方やゴミの出し方のルールが守られていないとか、地域の方々からゴミ回収の時に困っているという様々な相談を受けたことをきっかけに、どういう困りごとがあるのかを知るためにアンケート調査を行った。その為、アンケートと資源化率の向上という所はあまり結びつけた問い立てになっていなかった。そこで資源化率の低下について調べてみたところ、胎内市でいうと家庭系の紙類が年々10%、2桁位で減ってきていることが大きい。他のゴミだと若干資源化の方が増えている訳で、紙が減っているという所、やはりペーパーレスが進んでいる関係の影響が大きいと思われる。これは胎内市に限らず他の自治体でも同じ状態が言えると考えている為、新発田市等近隣自治体と意見交換を行い、どのような状況か確認していきたい。</p>

	<p>それに付随してゴミの量について、家庭系のゴミは令和元年度までは1人当たりのゴミの量は減っていた。令和2年度から増えてしまっている部分については原因を突き詰めてはいないが、国全体の新型コロナウイルス感染症による巣籠りがあってゴミの量が増えたのではないかと考えている。令和2年度は、更に胎内市もゴミの量が増えているが、実際に焼却場の職員に聞くと持ち込みの量が増えていると言っていた。時期によると並んで持ち込みをするほどの量があるという事であった。事業系のゴミは逆に1人当たりで言うと増え続けていたが、去年は減った。これは、コロナの影響で事業活動が停滞したことによるのではないかと心配される。ゴミの量が令和2年度減少し、また令和3年度は以前のように増加していることから、事業活動がまた動き出したと思っている。胎内市の事業系のゴミは、中核工業団地を誘致して一般廃棄物も増えてきているのかもしれない。事業活動が活発になれば増えるというのは考えられることだが、そこで資源化がなされているかについて充分注視していかなければならないと考えている。</p>
委員	<p>コロナの問題で断捨離している人が大勢いる。その方たちが一挙に出てくるとい問題がある。また、胎内市で布回収をやっているが、コットンが80%以上のものしか回収せず、それ以下のものは回収していない。そこで現在、NPO法人で小学生中学生の制服、体操着などを回収するという話があった。高校生の制服なら2万、3万と結構高額になるらしい為、その中に高校生の制服も入れてほしい。最近の80%以上のコットンと言ったらまずタオルかシーツ位しかない。あとはみんな化繊が入っている為、全て焼却に回ってしまい非常にもったいない。リースという格好にして持っていくということで、役場や公共の所に回収ボックスを置いてそこへ使える物、特に低学年だったら1、2年で大きくなって使えなくなった物を入れて生活困窮者や必要としている方に利用していただければどうか。衣類であっても一人の手にしか渡らないのではなく、何回も使ってボロボロになった時にその寿命は全うできると思う。衣類の寿命を全うできるようなシステムづくりをこのSDGs、持続可能という社会の中に何とか取り込んでいただきたい。この件については前のNPO法人の方にも私はそういったことをやってほしいというお話はさせてもらった。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今衣類のことを例えていたが、衣類に限らず他のリサイクルできるもの、リデュースできるもの、様々活用できるものは我々の身近な所でも多い。最後まで大切に丁寧に使いつつ、また次の方にも使っていただけるリサイクルは大事な視点だと思っている。衣類は80%以上が資源回収で、50%以上が公共施設に設置しているこぼと作業所の回収ボックスに持ち込んでリサイクルというような事に取り組んでいただいている。多様な視点で各事業所が取り組んでいただければと思っている。</p>
委員	<p>胎内市もフードバンクが始まったし、市場には出せないけれども食べるには問</p>

	題ないようなものが沢山ある。そういう考え方で進めていってほしいと考える。
委員	こぼと作業所の話が出たが、実は弊社でもこぼと作業所に回収に来てもらっている。我々の制服も回収されてウエスと言われる機械関係の油を拭いたりするものとして、再度うちの方で購入させてもらっている。我々事業所はなるべく衣服はうまくサイクルするように考えている。
委員	私の私見だが、胎内市の電気事業についてはとても進んでいると思う。まず水力発電所、風力発電所、それから太陽光パネルがあちこちにある。浜手の方は特に多くある。電気に関して胎内市はとてもいい市である。誇りを持っていてもいいなと思う。あとゴミが今言ったように少し多く出ているが、これは断捨離のせいだと考えている。
事務局	今ほどゴミの話が出たので家庭系の1人当たりのゴミが年々コロナの影響かもしれないが増えていることを少し懸念しているが、どういう形で家庭にアクションをアプローチしていけばいいのか考えている。通り一遍な市報で分別しましょうというよりは何かもっと違う手立てがないものかと思うが、委員の方で良い案があればお話をいただければありがたい。
委員	子供の時からという話が先ほど出たが、私はそこが一番大事なのだろうかと感じる。昨年度なかよしクラブの出前講座とかイラスト展をされていたが、市でこんなことをしてもらえるとということを学校はまだ知らない所が多いのではないかと思う。ゴミにしても環境にしても、子供たちは風力発電がすごく興味がある。どんなふうになっているのかという話を築地、きのと辺りの学校はしているのだろうか。
事務局	風力については築地は近くということもあるかもしれない。
委員	やはりよく見えるから子供たちも興味はあるが、遠くから見ているだけだった為、そういった事を教えてもらえる機会が増えたら興味も湧くと思う。ゴミに関しても話に聞くだけ教科書を見るだけではなく、実際に行って分別のされ方等を見ることが大事なのではないかと思う。学校のゴミ捨て場は燃えるゴミ、燃えないゴミくらいだが、そういうのも子供たちが学校でも分別されているのだということを学び、帰宅後に学校ではこんなふうに分けるのだと親御さんに伝えてくれたらいい。そんな風にゴミの分別だったり削減だったりに繋げて行ければ良いと思う。
事務局	ありがとうございます。
委員	家庭ごみの中の野菜のくずだとか魚を食べた時の頭などを畑へ持って行って、肥料にするという考え方ができればいい。畑が無くても庭で園芸くらいは大抵の家がしていると思う。その肥料にすればそういった生ごみだけでも減っていくのではないか。もう一つは今の焼却炉は燃やして熱を利用していない。熱を使って例えば温室を使って野菜を作るといった事を行えば同じ焼却でもリサイクルできる。課題があつて大変かもしれないが、家庭の物だったら、例えば、発砲ス

	<p>チロールの箱の中にくずを入れて土を入れれば時間が経てば微生物に分解される。それは自分の畑の野菜だとかお花にやれば肥料になるということをしてPRすることによって、小さなことだが可燃ごみが減っていくのではないかなという気がする。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。私共も昔からの事業で、生ごみを堆肥化するコンポストの補助金というのを支出している。庭が広い場合や畑、農地がある場合プラスチックのコンポストで対応ができるが、なかなか市街地の住宅街だとそれもできない。最近は電動による堆肥化コンポストも補助申請が増えてきている。その辺の制度の周知もして行きたい。</p>
委員	<p>先ほどのリサイクル率について、資源化率は村上市も悪化しているの、それと同じように原因の特定は出来ていないが、紙の資源化率が低下しているせいだと思っている。その辺の原因を解明していく必要があると思うが、市に出さないで業者のリサイクルに回っているものが増えているという事は無いだろうか。</p>
事務局	<p>それもあると考えられる。</p>
委員	<p>その辺もアンケートでしか掴めないと思うので、次回アンケート項目に入れてほしい。それから自分自身も、生活者としてゴミを出しているとまだまだゴミ袋の中に紙のものは多いと感じる。その紙が市の方に出てくるのが少なくなった中でももっと雑巾絞るアイデアがあるのではないかな。例えば、ハガキ大以上の物であればできるだけ紙回収に出してくれとかゴミ袋に入れないでとか、プラスチックの削減、ゴミ袋の削減で袋が手に入らなくなってきている為紙の封筒で代用するとか、更に今可燃物としている中から紙を更に削減するようなアイデアを啓発していくというのが一つあるかと思う。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。確かに今捨てられているゴミの中に紙等の分別できるものが3割は含まれているという調査結果も出ている。それがもっと分別できればゴミの減少に繋がるので参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>市が回収している紙ですが、最近スーパー等の業者で紙等を回収している。一応アルミもやっていると思うが、その分は入っているのか。</p>
事務局	<p>入っていない。</p>
委員	<p>最近は、スーパー等店先の回収ボックスに多くの人が行っている。市の回収であれば、資源ごみは月1回程度しか回収しないが、店先の回収はいつでも受けてもらえる。その便利さから、市の方の回収は減ってきていると思う。ビンや布はお店では回収していないが、紙、アルミ、牛乳パック、ペットボトル、トレーはみんな回収している。もう一つは、トレーの中で色のついたトレーを市は回収していないが、お店は回収している。お店が回収できて行政が回収できないとは何か問題があるのかなという気がする。</p>
事務局	<p>市としては、最終的にリサイクルに回ってくればそれでいいと考えている。</p>

委員	<p>畜産の臭気の関係で、築地、乙地区にある畜産事業者さんが多くて驚いている。以前は臭気が凄かった時期があったが、改善されたと感じていた。しかしこの数字を見ると午前中測定した14事業所では3事業所が基準を超過している。夕方測定した12事業所では7事業所が基準を超過しているという状態であると報告がある。私は乙地区に住んでいるが、風向きによって、臭気がする時が、たまにある。昔に比べ最近はよくなったと感じていたが、この数字を見たら、まだまだ基準オーバーをしている様子が見られる。その辺、もう一度、市の方で業者に徹底していただきたいと思っている。本当に、松林の方の乙、築地地区は畜産関係が多くあり、以前は本当に酷かったが、最近は良くなったと思っていた。だが、数字を見たら、まだ改善しなければと感じた為、お願いしたい。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りに平成25、26年なんて言うのは、事業所のほとんどがその臭気指数の環境基準値を上回っていたという非常に悪い時期もあった。そこから事業所の協力を得ながら、様々、堆肥化の方法を変えたりして良くなるはなってきた、3年位前までは順調だったが、一昨年が、非常にまた悪くなった。乙の方で言うと、大きな養豚業者があるが、そこにも何とかしてくれないだろうかと市長を交えて折衝をして、すごく改善をしてもらったという経緯がある。</p> <p>以前は糞をストックヤードに溜めて、そこで自然堆肥をさせている状態だったが、堆肥化の方法を副資材のみ殻を混ぜて堆肥化するような手法に変えたら、かなり改善された。なおかつ、大きな堆肥化施設の建設をして、脱臭装置を加えて脱臭した空気を30m上空まで放出するという大きな機械を付けてくれた。それが去年の11月に稼働し始めた為、今年はずっと改善していくと思っている。</p> <p>築地地区で言うと、養豚業者が一つ、昔ながらの豚舎であったが、県の協力を得てクラスター事業で全部施設を最新設備に入れ替えた。コンポストという大きな堆肥施設を造り、脱臭装置付きということもあり、そちらも改善をすると思っている。実際に乙で言うと、昨年の昼間の臭気測定で超過したのはゼロだった。築地方面は養鶏業者が二つある為、パーセンテージ的には増えているかなというところがある。地域の人と話をしている中で、夕方は臭いがきついという話をもらったので一昨年から夕方の臭気測定も始めた。結果、夕方の測定結果は、基準値を超えている部分が多かった。資料上、以前に比べると基準値を超えている施設のパーセンテージが上がっているように見えるが、以前は、夕方の臭気測定をしていなかった為、その時の状況は不明である。それにしても夕方の臭いについては、私どももしっかり指導に努めていきたい。</p>
委員	<p>私は中村浜に住んでいるが、周りは養豚畜産業者がかなりある。以前から見ると説明どおり、新しく設備を最新のものに変えて農場をきれいにしたところもあり、臭気は、かなり改善されていると感じる。ただそのコンポストから出た堆肥を無償で畑用に貰って、耕作する前に畑に撒いている所が何軒かある。撒いてすぐトラクターで1回位打って土と混ぜても臭いは出る為、住民からかなり臭い</p>

	<p>という事で、苦情をもらったりする。その辺も併せて、ある程度行政の方でも強く指導してもらいたい。</p> <p>あとは、海の方の不法投棄が資源ゴミに出せる物でも結構捨てられている。行政の方へ頻繁に連絡して、対策をしてもらっているが、警察の方にもパトロールの強化等を併せてお願いしている。なかなか、不法投棄も止まないなので、その辺が私どもの方で、困っている問題が多くある。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。最初の肥料として畑に撒くというところ、私どもも苦情をいただいた際に、どこから来ているのか調査をして、撒いている畑を付き止めている。その業者が、生に近い、法律的に認められないものを撒いている場合もたまにある為、そんなものを撒いてはダメだという事を強く指導をしている。業者の方にも、無償の配布をしている訳で、商品として出せるような堆肥化が進んでいるような物であればいいが、中途半端なものは止めてくださいとは、強く指導をしていますし、これからも、して参りますのでよろしくお願いしたい。</p> <p>不法投棄については、我々も毎日パトロールをしているところである。発見数とか量というのは、年々減少してきてはいるが、やはり人の目をかいくぐって捨てるという行為は、全く無くなるわけではなく、どんどん見えない所に捨てられている状況で、警察の方と協力しながら、去年は1人捨てた人を見つけることができた。嚴重注意をしてもらおうという事で、本当に全て警察に繋げていくような勢いで我々も取り組んでいる為、もし、また、このような所に不法投棄されているという事があれば一報いただきたい。また、捨てやすい場所があれば、我々も不法投棄の看板を設置する等の措置を講じる為、またご連絡をいただきたい。もう一つに委員の皆さんからアイデアがあればお聞きしたいが、不法投棄を無くすために、市民の皆さんのアイデアを募ったらどうかという意見が議会に出て、何かしら、市も取り組んでいきたいと考えている。今すぐでなくて結構だが、こういう取組みがいいのではないかという意見があれば、事務局まで連絡をいただきたい。</p>
委員	<p>それではだいたい1、2は終わったようでございますので、その3、事務局の方から</p>
事務局	<p>その他という事だが現在地球温暖化防止実行計画の見直し期となっており、その中の一部の内容で市の計画目標を立てたいと思っている。目標達成の具体的な取組みということで、市として、こんな取組みを考えているというような目標立てを行った。こちら削減目標については、国の方では46%の削減をするという事を目標に掲げていた。市もゼロカーボン宣言を行った為、国と沿うような46%削減という事で、今現在考えている。具体的な取組みについてはエネルギーや施設の管理、物品購入といった事に対する目標を考えさせていただいた。これは、今意見をくださいというわけでは無いが、資料を確認して、後程意見があれば事務局にいただきたい。</p>

事務局	<p>補足だが、これというのは、まだ事務方だけで考えている段階であり、胎内市全体の削減というのではなくて、市が行う事務と事業だけについて、エネルギーを削減して行こうというような計画である。今、それを事務方で段階を立てて具体的ではないかもしれないが、こういう取組みをしていけばいいのではないかと、いうところを若干まとめてみたものである。未定稿だが、委員の皆さん、ご覧になっていただいて、様々ご意見いただければありがたい。</p>
委員	<p>それでは、残りの議題については事務局よりお願いしたい。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題は以上で終わりとなるが、全体をとおして話があれば、お話しただければありがたい。</p>
委員	<p>一応、弊社については目標を設定して前年度を上回らないように取り組んでいる。やはりあれだけの規模の工場であり、基本的に、重油等ではなくて、ガスで賄っている為、一気に使用料を減らすというか、代替エネルギーといった、これ以上の省エネ化は厳しいのかなと考えている。</p> <p>あと考えられるのは、車等を電気自動車、EV化していくというのもあるが、EVの稼働時間はどうしてもガソリン車に対して非常に短い。また、運搬能力が低く、作業効率が下がってしまう。うちの場合は基本的に作業車の使用燃料は微々たるものであり、あとは、フォークリフトや半山の方採掘場で動いている大型重機関係の重油関係の削減が。今後どうなっていくかという所が一番だと思う。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。この新潟胎内という所で、太陽光がどれだけのエネルギーを生み出すかという所は、少し不安であるが、国全体の動きとして、公共施設、空地などには、太陽光発電を設置するという方針が示されている。私どもは、風力、水力という再生可能エネルギーのポテンシャルは高い訳で、そちらの方で力を入れているところである。太陽光も、少し考えていく必要があるとこの計画の中には入れているが、なかなかコストの関係もあり、どこまで財政力が応じるかという所も課題がある。それらを考慮し、進めていかなければいけないと思っている。</p>
委員	<p>機械関係、照明関係、OA機器もそうだが、やはり最新の機械というのは消費電力がかなり少ない。エアコンいうと、10年前の機械と比べて、現行型は半分以下の消費電力の為、買い替えるだけでもコストが下がる。それは我々事業所も同様で、当事業所という照明関係は工場内も含めて、ほぼ9割方、LEDに切り替わっている。外灯関係も水銀灯からLED化している。あとは先程のエアコン関係についてもなるべく10年以上前の機械は廃止して、最新型に入れ替えることで省エネ化を図っている。数千万か数億するような大型機械はなかなか入れ替えは出来ないが、こう言った所も実は入れ替えると相当使用エネルギーが削減できるのが分かる。しかし、そこは予算との兼ね合いもある為、出来る範囲の所からという状態である。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。この本庁舎もLED化はされていない訳で、ここもLED化したらかなりエネルギーの削減をすることができる。私の方は、以上ではありません。それでは長時間に渡り、色々ご審議、ご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>この協議会の委員の任期がちょうど3月で満了となる。まず一区切りをつきましたということで、委員の皆様方には長らくお世話になり本当にありがとうございました。いただいた意見については今後の事務の進め方、事業の進め方の参考とさせていただきます。</p>
-----	---